# 事業報告概要書（公表版）

## 1　基本情報

| 施設名又はグループ名 | 指定管理者名及び団体概要 |
|---|---|
| 文化財庭園グループ | （指定管理者名）公益財団法人　東京都公園協会<br>（団体の概要）都市緑化の推進、公園や水辺を通じた安らぎとゆとりの提供を目的として設立され、公益目的事業（指定管理者事業を含む）及び収益事業を行う。 |
| 指定期間 | |
| H28．4．1　～　R8．3．31（10年間） | |

## 2　施設名

浜離宮恩賜庭園、旧芝離宮恩賜庭園、小石川後楽園、六義園、旧岩崎邸庭園、向島百花園、清澄庭園、旧古河庭園、殿ヶ谷戸庭園

## 3　収支（単位：千円）

| 項目 | | 令和６年度 金額 | 令和５年度 金額 | 令和４年度 金額 |
|---|---|---|---|---|
| 収入　計 | | 1,209,289 | 1,114,393 | 992,140 |
| 内訳 | 指定管理料 | 728,488 | 684,820 | 647,632 |
| 内訳 | 利用料金 | 480,801 | 429,573 | 344,508 |
| 内訳 | その他収入 | | 0 | 0 |
| 支出　計 | | 1,213,218 | 1,115,213 | 1,058,380 |
| 収支差 | | △3,929 | △820 | △66,240 |

公園別支出額

浜離宮恩賜庭園:261,852、向島百花園:66,489
旧芝離宮恩賜庭園:102,667、清澄庭園:143,965
小石川後楽園:162,374、旧古河庭園:97,680
六義園:174,635、殿ヶ谷戸庭園:87,555
旧岩崎邸庭園:116,001

## 4　管理運営の概要

＜基本理念＞　首都東京を代表する文化財庭園の価値を高め、未来に継承するとともに、庭園文化の魅力を世界に発信します

○庭園の価値を高める
・各庭園の価値の向上を図るため、作庭意図や歴史背景を踏まえた質の高い維持管理を実施した。
・維持管理技術・技能を継承するためのノウハウの蓄積と次世代を担う人材を育成した。

○庭園の魅力を向上する
・イベント参加のオンラインチケット化を拡大し、利便性の向上へと繋げた。
・地域・企業等と連携した取組みを拡大実施し、周辺地域と一体となった魅力アップで、利用者サービス向上を推進した。

○庭園文化を世界に発信する
・庭園Instagram等のSNS、Newsプラットフォームで積極的に情報を提供し、国内外に広く普及や、魅力発信を行った。
・文化的観光拠点としての役割を担うとともに、タイでの旅行博出展を行いインバウンド利用者を迎えた。

## 5　管理状況

### ①維持管理

**【作庭意図や歴史的背景を踏まえた質の高い維持管理】**

・浜離宮では、鴨場の小覗きや小土手など鴨場周辺の一斉補修を実施。在来工法を用いた人力による土手等の補修により、往時からの主要景観を再現するとともに、景勝地に至る階段園路補修など、安全な観賞ルートの確保に努めた。小石川では「紅葉林」の衰退が課題となったため、保存活用計画にある疎林景観への更新を再開。昭和初期の図面等を参考に補植箇所を検討し、紅葉林全体の景観を考慮して、配置箇所によって補植樹の樹形や大きさを選ぶ、枝の向きや支柱の工夫で踏圧を防ぎ、健全な育成を図るなど、将来を見据えたきめ細かい対応を行った。六義園では史資料古絵図にある“吉野山”の「ヤマザクラの景」の回復のため、「尋芳径」「吟花亭跡」周辺一帯のヤマザクラ補植事業を継続して実施。急激な景観の変化がないように、複数年をかけて事業を展開。ヤマザクラの補植ならびに周辺支障木の撤去を行うとともに、植え込み地保護のため吉野山をめぐる園路に人止めのロープ柵を設置して、作庭当時からの地割を保全することができた。百花園では古典菊の育成方法を検討し、たくさんの良花づくりに成功、展示への活用で、江戸期の文化体験など当園ならではの景観維持に寄与できた。

**【維持管理技術・技能を継承するためのノウハウの蓄積と次世代を担う人材育成】**

・庭園維持管理に関する検討会（12回）を開催。保存活用計画を主軸とした当年度の維持管理業務の計画や改善案を検討し、新人の育成及び技術職員の庭園維持管理技術の向上を図った。
・庭園技能の継承と底上げを図るため、庭園技能連絡会（4回）を通して、技能向上について検討。また、中堅・若手職員に技能経験の蓄積と技術向上を図るため、清澄で「枯滝のぐり返し」を、小石川では「大堰川の蛇籠の更新」を「庭園技能研修」（２回）として実施。それぞれの景色が表す意味を理解した上で、特有の手入れ技能を熟練職員の指導のもとで実施し、技能を向上させながら、庭園景観を維持することができた。特に後楽園での研修は、東京都とのキングサーモン事業と連携した、事前学習プログラムを実施し、新しい技能育成方法にも挑戦した。

### ②利用者への対応

**【庭園の魅力向上】**

・旧芝離宮では地域・次世代と祝う形で「開園100周年記念イベント」を一年を通し様々な形態で開催し今後の100年に向けて躍進した。
・浜離宮、旧芝離宮、小石川、六義園では夜間特別開園コンテンツをそれぞれバージョンアップさせ開催、これまでのゆかりのある地域と共に行事開催することができた。
・旧岩崎邸では「津田梅子ゆかりの学習室」に続き２年連続で洋館の非公開部屋の公開を開始し、魅力向上を図った。

**【庭園文化の発信】**

・夜間開園や植物のみごろに合わせてドローン撮影を累計27回撮影、YouTube・Instagramで発信したほか、タイ・バンコクで開催の旅行博に出展し、アジア人観光客のニーズの把握や今後の広報展開へと活用することができた。
・英語などでの恒常的なXでのポストや、オンラインチケットの外販などを活用し、海外においても都立庭園の情報発信を行った。
・庭園ガイドサービスを浜離宮・六義園で刷新してセルフガイド機能を有したwebガイドサービスを11言語で展開した。

## 6　利用者アンケート結果

実施方法：庭園内で調査票を配布・回収／QRコード掲示によるWEBアンケート

| 施設名 | 総合満足度 | 植栽管理 | 施設の清潔さ | 安全・安心 | 職員の応対 |
|---|---|---|---|---|---|
| 浜離宮恩賜庭園 | 4.8 | 4.9 | 4.6 | 4.8 | 4.8 |
| 旧芝離宮恩賜庭園 | 4.9 | 4.9 | 4.6 | 4.9 | 4.9 |
| 小石川後楽園 | 4.7 | 4.6 | 4.2 | 4.5 | 4.5 |
| 六義園 | 4.9 | 4.7 | 4.6 | 4.7 | 4.9 |
| 旧岩崎邸庭園 | 4.6 | 4.6 | 4.7 | 4.8 | 4.5 |
| 向島百花園 | 4.8 | 4.8 | 4.7 | 4.9 | 4.8 |
| 清澄庭園 | 4.8 | 4.8 | 4.7 | 4.7 | 4.8 |
| 旧古河庭園 | 4.6 | 4.7 | 4.6 | 4.8 | 4.8 |
| 殿ヶ谷戸庭園 | 4.8 | 4.8 | 4.6 | 4.7 | 4.7 |

## 7　入園者数の状況（単位：人）

| 施設名 | 当該年度 | 分析 |
|---|---|---|
| 浜離宮恩賜庭園 | 671,116 | 効果的な広報発信に加え、インバウンド旅行客が増加し集計以来過去最高の外国人入園者数となった。 |
| 旧芝離宮恩賜庭園 | 154,573 | 開園100周年記念イベントを年間通じて開催し、昨年度比116.7%の入園者数となった。 |
| 小石川後楽園 | 384,434 | 民間企業とのコラボ事業等で一年を通して誘客を図り、昨年度119.4%の入園者数となった。 |
| 六義園 | 521,243 | 冬の閑散期において、新規イベントを開催し誘客を図り、昨年度比115.6%の入園者数となった。 |
| 旧岩崎邸庭園 | 148,542 | 昨年度の春・秋に焦点を当てた芸術文化を堪能するイベントをアップデート開催し誘客効果を図った。 |
| 向島百花園 | 91,209 | 伝統行事のリーフレットを刷新し、新たな客層とインバウンド向け誘客効果があった。 |
| 清澄庭園 | 262,388 | 地域の賑わいを取り込み、メディアへの露出も増え昨年度比110.9%の入園者数となった。 |
| 旧古河庭園 | 252,916 | 東京都洋館外壁補修工事の影響で入園者は減少となったが、工事をポジティブな広報発信で昨年度比86.3%と下げ止まりに寄与した。 |
| 殿ヶ谷戸庭園 | 70,855 | 国分寺駅及び周年での広報展開や東京都公式アプリに参画し、誘客効果を図った。 |
| 合　計 | 2,557,276 | |

特別名勝・特別史跡

# 浜離宮恩賜庭園

## 未来に遺す江戸の浜風
## 宴遊と尚武、徳川将軍家の御庭

所在地：中央区／開園面積：25.02ha

## 「宴遊」の檜舞台、中島の御茶屋の美観向上と利用者サービス維持の取り組み

### Update 都工事との相乗効果

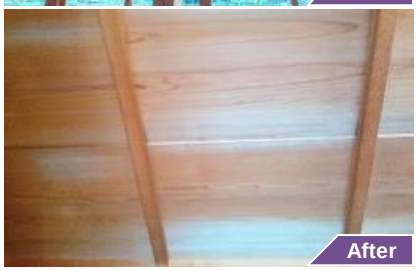
「中島の御茶屋」は**来園者の約30％が利用**する人気施設である。都の露台工事による**施設休止期間を活用**し、外部・内部・畳・建具の補修を実施することで**一帯の美観向上**を実現した。

### NEW 周辺環境をふまえた施工

外部は紫外線や海風の影響を強く受けるため、洗浄後に**高い撥水性、耐候性、耐紫外線性能**のある塗料を2度塗りすることで**長期的に木部を保護**する仕様とし、長く美しい景観を保つよう工夫した。

### Update 明るい白木仕上げの内装

内部についても、紫外線等の影響によるくすみが見られた。木部は、洗浄及び保護塗装を施した。**素材を活かしたクリアの保護塗装**としたことで、**利用者の衣服への色移りを考慮**した仕上げとした。




### Update 安全と景観維持の両立

工事のお知らせを掲示したカラーコーンは、**都施工業者と提案して竹製の和風デザインを採用**いただき、景観に最大限配慮した安全対策を行った。

### NEW 強い抹茶ニーズへの対応

国内外の利用者需要に応え「庭園での抹茶体験」を最大限維持。**通常は一般非開放の「松の御茶屋」で抹茶席を代替提供**し特別なお茶席として大好評を得た。

### Update 細やかな対応と情報提供

入園前に御茶屋の休止と代替サービスを把握できるようHPやX、掲示で毎日発信。雨天時の臨機応変な対応変更も細やかに周知し、**工事への苦情を皆無**に抑えた。

# 将軍家の庭「濱御殿」の愉しみあれこれ　～お月見散歩、西洋馬術イベント、お点前拝見～

## Update 秋の「十三夜」のお月見を、もっと楽しく、もっと素敵に

３回目となる「浜離宮でお月見散歩」では、照明のレベルアップ演出を工夫し、**潮入の池エリアと延遼館エリアとの歴史的な位置づけの違いを発信**。また、開放エリアの拡大、お供え式等のコンテンツの追加により、**将軍の御庭らしい大らかなお月見体験を創出**した。

将軍上覧「寛政の鯨」を象徴するライティング

初開催の「お供え式」も好評

特別開放の芝生地から船上雅楽を観賞

静かなEV船から「将軍お上がり場」を眺める

## NEW 初の「馬」×お茶席

将軍が武芸鍛錬で親しんだ「馬」を前面にアピールした体験型イベントを11月に実施。**「尚武」の庭としての側面を普及啓発**した。

馬術に欠かせない「弓」とともに体験

「馬具」や「弓」をモチーフとしたお茶席

# 往時、将軍が鷹狩に興じた「鴨場」、希少な施設の景観と安全性の向上

## Update 鴨場を象徴する工作物の更新と技能伝承

**国内に現存する鴨場**が限られているなか、浜離宮で**補修技法を伝承**している小覗きや小土手の補修を行うとともに、鴨場石段の据え直しや板柵護岸などの一帯を補修することで**鴨場の景観をさらに向上**させた。

**伝統技能**　土（硬さ、粘性など）の**変化を見極め**ながら、土を叩いて象った後削る、削った後土を盛るといった**地道な人力作業の繰り返し**により成形。

**景観・安全**　大覗きへ続く石段の不陸、がたつきを補正し据え直しを実施。平行に据え直したことで、**景観向上**に繋がると共に**利用者の安全面**も改善できた。

名勝

# 旧芝離宮恩賜庭園

所在地：港区／開園面積：4.31ha

## 地域・次世代と躍進する庭 旧芝離宮恩賜庭園

## 地域と祝う旧芝離宮開園100周年記念事業

### NEW 開園100周年の記念イベント「時をつむぐ～旧芝離宮の灯り～」の実施

「文化の日」前後に、地域事業者と連携し開園時間を延長。日没以降、優しい単色の灯りで庭園を照らした。**庭園への関わりと愛着を育てる、来園者参加型のイベント**をコンセプトとし、来園者が作成した灯ろうを池に浮かべ、提灯装飾に小学生の俳句を飾る、手持ち提灯を貸し出すなど、来園者自身が"灯り"に携わるよう演出した。園内では**次世代への庭園普及を目的に、主にこども向けのワークショップを実施**。 4,895人（内小学生以下177人・16時以降2,323人）の来園者をお迎えし、**5月の夜会に加え、本年2度目の夜の庭園散策の場を提供**した。

庭園の特徴や見どころを魅せるライトアップ

近隣小学生が庭園に寄せた俳句

庭園の景に提灯の灯りを添える来園者

旧芝離宮をテーマに灯ろうの絵付け体験

フォトスポットは再生エネルギーを使用して点灯

### NEW 開園日無料開園、記念イベントで100周年を発信

- 開園日である4月20日は無料で開園。**2,936人が来園し開園100周年を祝った。**
- GWに中国民族楽器の演奏会を実施、中国と所縁ある庭園文化を解説。
- 5月の夜会は、**開園100周年をテーマ**に据え、計5,142人の来園者を迎えた。

夜会では100周年をテーマに時の流れを演出

### NEW パネル展で多様な人々に旧芝離宮100周年を展開

宮内庁皇室建築史家の浅羽氏他1名監修の当園の歴史や見どころを紹介したパネル15枚を作成、地域の商業・文化施設等と連携し**約1年間8か所で巡回展示**した。**1万人以上にご覧いただき庭園の普及啓発の推進と地域の周遊性を高めた。**

外国人観光客の多い東京タワーでパネル展示

### NEW 園内周遊謎解きで庭園の魅力向上

エリアマネジメント連携で、**園内周遊の楽しみを増やす謎解きを開催**。児童も興味を持ち楽しめるデザイン・内容に工夫し、正解者にはオリジナルステッカーを贈呈。11月～3月の参加者数4,300人、達成者数622人。初めての方が庭園へ来る契機を作った。

冊子の謎を解き園内の該当場所を探す

# 東京都工事に連動した「泉水」周辺景観の庭園遺構の価値向上の取り組み

## NEW 作庭当初からの庭園遺構「馬場跡」の保全

庭園遺構「馬場跡」

泉水を前に草地化が進行し、本来の地割が不明瞭となった**作庭当初からの遺構「馬場跡」**の園地補修を実施。詳細に現地を調査のうえ、**史資料図面絵図に基づき"馬場跡"の範囲を推定。**将来の**馬場跡復元を見据えて適切に遺構の保全**を図った。広場としての機能に支障のないよう、不陸が生じていた水勾配を補正。"馬場跡"であることから、走行方向である長手方向に縦断勾配を設けたことで、**馬場としての直線性を彷彿とさせる景観の向上**と、雨天時には**良好な排水がなされ、庭園観賞に快適な環境**も整えることができた。

## NEW 東京都修復「木橋」完成に連動した泉水周辺修景

庭園遺構「海水取入口」

潮入の庭を彷彿させる**遺構「海水取入口跡」周囲**の背後**遮蔽植栽更新**を実施。支障枝整枝と合わせ、**泉水の遺構の価値を向上**させた。

## NEW 泉水借景となる外周古木の修景剪定

主景観**泉水の背景"借景"**となる都市との緩衝**外周古木群を修景**。自然樹形を基調としつつも景観に合わせた**大枝骨格の整枝**により**泉水の借景を再生**した。

# パートナーシップで庭園の魅力アップと活用推進

## NEW 近隣の3小学校で初の出張授業

エリアマネジメント3団体と連携して、文化財庭園と伝統技能への理解や興味を深める**オリジナル教材を作成し約200名の児童を対象に授業**を実施。授業の中で旧芝離宮をテーマに俳句を作成してもらい、庭園のイベント装飾の一部として飾り、**関心と愛着を深める**機会も創出した。

授業では伝統技能のワークショップも実施

## NEW 愛宕警察署・高齢者相談センター等との連携

- **高齢者向け「健康さんぽ」を初開催。**庭園解説と周遊で**健康増進のための庭園活用**を進めた。警察署も巻き込み、高齢者向け防犯講話も同時に実施した。
- 地域の幼稚園来園に際し、警察署にも事故防止活動で連携いただき、次世代への**文化財教育及び安全推進**に資した。

警察署とは新橋駅でも合同PR活動を実施

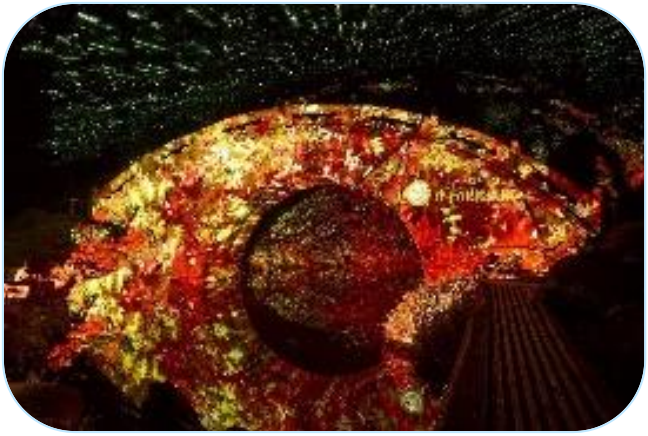
## Update ボランティア活動の内容充実と参加者交流促進

- **地域の新規事業者を1社誘致し、延べ17企業と計6回の協働活動を実施。**新たな内容を加え満足度をアップしたほか、作業内で事業者交流の機会も創出。
- ガイドボランティア養成講座では事前調整から継続してサポートを行い、実習を終えた希望者9名全員にガイドを委嘱。

経験の多寡を考慮したペアを作り交流促進

特別史跡・特別名勝

# 小石川後楽園



所在地：文京区／開園面積：7.08ha

## 後楽園エリアとともに歩み続ける最古の大名庭園

## 地域・企業と一体となって取り組む魅力的なコンテンツの提供

### Update「秋の夜長の小石川後楽園」

昨年度に引き続き、地域・企業連携事業として2回目の夜間特別開園を、西門から東門まで**開放面積を2倍に**して実施した。**オンライン入園券の販売プレイガイドを昨年度の3種から5種に増やし、来園経験のない方にも幅広くPR**した。「円月橋」へのプロジェクションマッピング等が高評価を得て**若年層を中心にSNSで情報拡散され、総入園者数は9,566人（前年度比約229%）**となった。

創建当時から残る「円月橋」に映し出すプロジェクションマッピング

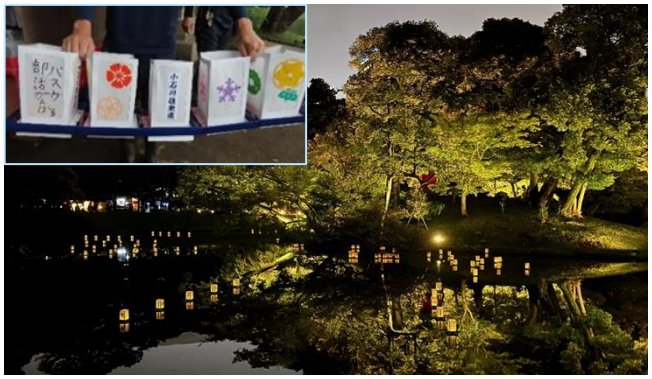
### NEW「日本庭園・文化プレミアム体験ツアー」

観光庁推進事業の助成金を獲得し、㈱東京ドーム、㈱読売旅行と連携した特別おもてなし事業を実施。当園では、**早朝庭園ガイド、水戸の食材を味わえる特別な食事の提供、和菓子作り体験、お茶会、庭師ワークショップ**を行った。早朝庭園ガイドでは、職員が「江戸の旅人」イメージの衣装を着用して案内する「江戸時代の旅」体験など、**これまでにない特別な日本文化体験ツアー**を提供した。

「回遊式築山泉水庭園」の変化に富んだ風景を、旅するようにご案内

### NEW こどもたちの願いを灯篭にこめて

夜間特別開園の最終日限定イベントとして「灯篭流し」を実施した。灯篭は職場体験の中学生が作成した紋切で飾り、地元小学生が将来の夢や願い事を記入したものとした。近隣のこどもたちと作り上げた灯篭により、**特別な地域連携イベントの締めくくりを演出し、来園者からは「とても綺麗だった」等のお声をいただいた**。



夜間開園最終日の灯篭流しの様子

### NEW 東京ドームのビジョンで情報発信

㈱東京ドームとの連携で、「日米観光交流年2024ナイト」の開催日である9月の巨人戦前に**東京ドームメインビジョンに小石川後楽園の紹介を含む動画を特別放映**。当日来場した4万人以上の観客にPRでき、庭園の効果的な認知のきっかけとなった。**夜間開園についてもドーム内外のビジョンでPR**を行い連携を深めた。

後楽園駅向かいの屋外大ビジョンでのPRの様子

# 都会のオアシス　豊かな自然資源を活かした利用者の期待に応える取組

## NEW 花・紅葉で魅了する多彩なイベント

四季ごとに咲く庭園内の花や紅葉といった**植物資源の魅力**を活かし、花菖蒲・ハス・ウメの特別講座を展開するほか、紅葉・梅の各イベント期間中に㈱ロッテと連携し、小石川出身という設定のキャラクター「小梅」の50周年に合わせた**「重ね押しスタンプラリー」を実施**した。11月～12月の**紅葉期は1.7万人が参加する人気コンテンツとなり、企業連携により国内外の多くの方に紅葉をお楽しみいただいた**。梅花期は2月～3月に実施し、**1.4万人が参加**した。

重ね押しの技法は「浮世絵」と同じで外国人参加者に特に好評

# 歴史と伝統の「蛇籠」製作研修を通し、新たな技能伝承の可能性と水景の向上を図る

## NEW 先端技術による事前学習で製作過程を理解

東京都の**King Salmon Projectと連携**し、技能職員による蛇籠の製作過程を予め動画で記録、AIが編集し、事前学習の教材として研修生に供された。**難解な工程を最新技術でわかりやすく伝え、伝統技能の継承**へとつなげた。

カメラ付きのスマートグラスを用いて熟練技能者の目線を記録

研修生は動画を何度でも見返して事前学習できる

## Update 研修を通して、河川景観の向上を実現

蛇籠製作の研修に14人が参加。蛇籠の歴史や役割を座学で学んだ後、事前の動画で学んだ知識を実技を通して実践した。大堰川の水位の回復に応じた最適な姿を検討し、**これまでと蛇籠の大きさや設置方法を変えて、河川景観の向上に繋げる**ことができた。

熟練職員だけでなく、前回研修参加者が新人に積極的に指導

蛇籠更新後。旧来より一回り大きく、急流をよく象徴することができた

# 「紅葉林」を本来の「疎林」景観に回復させていく長期計画に着手

## NEW 「紅葉林」全体の姿を見越した補植樹木選びと、将来を見据えた伐採・伐根を実施

主要景観地「紅葉林」は、踏圧等により**構成樹イロハモミジの衰退が急速に進行**している。保存活用計画にある自然な「疎林」景観に回復させるため、戦前の植栽図面を参考に、**段階的な補植計画を策定**した。

今回補植するイロハモミジは**林相に合わせて上に高く伸びる木姿**とし、根元への**踏圧軽減を目的に、下枝の張った樹形**を選んだ。また、今後補植していく箇所の確保を目的に、枯れが進行したモミジの高木2本を伐採し、切株3個を伐根した。

補植した2本のイロハモミジ。主幹から出た下枝が、利用者が樹下を歩くのを自然に防ぐ。（左写真）幹巻きにはワラを使い、支柱は焼き磨き丸太を使用するなど、景観にも配慮した。

特別名勝

# 六義園

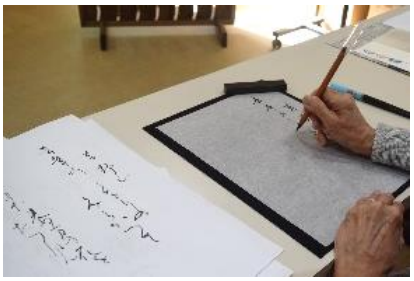
## “和歌の庭”六義園の価値を高める維持管理と魅力発信

所在地：文京区／開園面積：8.78ha

## 和歌の聖地誕生千三百年、「和歌」に特化したイベント開催による庭園の魅力アップ

### NEW 六義園では初めての開催「書写体験」

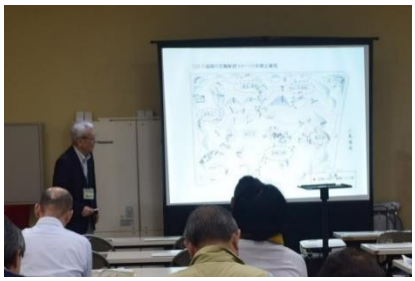
定員40名満員での開催となり、六義園八十八境の石柱にちなむ和歌2首を書き写していただいた。参加者には「石柱散策マップ」を配布し、**六義園の作庭意図「八十八境」の解説とあわせて、お庭散策の案内**につなげた。



「和歌の庭」ならではの講座として
また開催してほしいとのお声もいただいた

### Update 和歌山市と連携した「和歌の講演会」

六義園の歴史、六義の由来などについて講話。和歌山市広報広聴課の方にも登壇いただき、和歌山市の1300年記念イベントの紹介も行った。参加人数は25人、**参加者アンケートでは92％の方から「満足」の回答**をいただくことができた。



ガイドボランティアと和歌山市の双方から
「和歌の庭」であることを紹介

### NEW ガイドボランティアと協働、初の長期間イベント

**「六義園文化祭」**と題し、特別講座やワークショップなどを1週間毎日開催。文京区等とも連携した広報により、**7つの講座は全て満員、期間中来園者数も前年度比130％**の5,559人と来園を誘致し、庭園の歴史や自然の普及啓発ができた。

六義園について、若い世代に知っていただく
きっかけも作ることができた

## 六義園八十八境「藐姑射山」周辺の園地改善

### NEW 「藐姑射山」周辺の観賞環境の改善（公園型ベンチの縁台化・舗装補修）

**六義園八十八境「藐姑射山(はこやのやま)」周辺**の園地を改善。庭園景観に馴染まない既設公園型ベンチを**庭園景観に調和する縁台に更新**。土砂が流亡し不陸が生じていた**園地の砂系舗装補修**を合わせて実施。八十八境を巡る回遊環境の改善をすることができた。

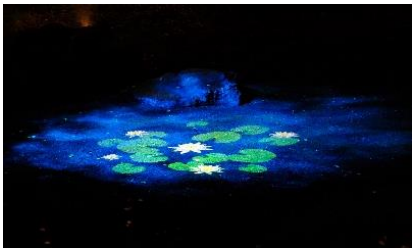
# 「和歌の庭」六義園の魅力を伝える紅葉期・桜花期の夜間特別観賞

## Update 「六義」の説明等を加えた土蔵プロジェクション

園内風景の映像に加え、**新たに「六義」の説明や、造園当時の人々が和歌に詠まれた名勝を楽しみながら園内を散策していたことを紹介**する映像を制作。往時の様子をより具体的に想起させ、当園への理解を深めていただく工夫を凝らした。

## Update 蓮の花の演出で華やぐ水香江プロジェクション

水面のゆらぎを表現するウォーターウェーブライトに加え、往時は蓮の花が咲き、六義園記にも「花が盛りの際には水も香るだろう」と記載されていることから、**ゆらめく水面に蓮の花が消えては浮かび上がる演出、春には音楽も追加しコンテンツを強化**した。



## Update サクラの見頃に合わせた柔軟な開催日程調整

これまでの開催ノウハウをもとに、**期待の高い「しだれ桜の見頃」に応じて開催期間の確定を直前とし、柔軟に対応**した。またキャッシュレス対応のオンライン当日券を導入し、人数をコントロールしつつ**より多くのお客様に桜をご観賞いただくことができた。**

「庭紅葉の六義園」来園者数 2.6万人(昨年度比114%)、「春夜の六義園」来園者数 2.5万人(昨年度比170%)

# 庭園の本質的価値―六義園八十八境―ヤマザクラの景観回復

## Update 吉野山「尋芳径」の作庭意図の回復

八十八境「尋芳径」周辺一帯の**史資料古絵図にある"吉野山"の作庭意図「ヤマザクラの景」の回復を継続**。急激な環境の変化を避けつつ、樹林地の古木大木の肥大化を抑制する植生管理により、**往時の景観への回復に向けた生育に適した環境へ**の改善を推進。吉野山をめぐる園路「尋芳径」では、ロープ柵の設置により、植込地築山への観賞者の進入を防止。生育環境の保護とともに**庭園の本質的価値である作庭当時からの庭園の地割を保全**。経年劣化が進行していた**園路補修**と合わせて、庭園の回遊環境も改善することができた。

**文化庁に現状変更申請**の上、教育委員会立会いのもと補植作業を実施。**国指定文化財「特別名勝」としての景観の回復**を継続。

史資料古絵図に表されたヤマザクラの景観

令和3年度から継続している**「尋芳径」「吟花亭跡」周辺一帯の"吉野山"での補植事業**。周辺環境の急激な変化なく、適した生育環境で順調に史資料に基づいた景観の回復へと進んでいる。

重要文化財

# 旧岩崎邸庭園

所在地：台東区、文京区／開園面積：2.07ha

## 歴史的建造物に調和する景観創出と利用ニーズに応える取組

## 利用者ニーズに応える洋館公開エリアの拡大

### NEW 洋館2階「控室」の整備と新規公開

従来非公開であった**洋館2階「控室」を整備し新規公開**。顧客満足度調査等で**利用者から寄せられる「非公開エリアの開放」ニーズに応えた**。公開にあたり、室内には金唐革紙の額装作品を展示し、岩崎邸を象徴する**伝統文化発信の場として活用**したほか、北側に面した窓から玄関アプローチが望めるようにスペースを確保。窓越しに大イチョウや塔屋が間近に迫る、**他の居室では見ることのできない新たな景観**を楽しんでいただくことが可能となった。

金唐革紙額装品を展示した整備後の「控室」

大イチョウと塔屋が間近に迫る景観

## 文化財の価値を裏付けた家具調査による新事実の発見

### NEW 調査協力により明らかになった家具来歴

ジョサイア・コンドル設計の洋館を管理運営する大谷美術館の依頼を受けて洋家具の調査に協力。調査の過程で、洋館内キャビネットから**家具のカタログ資料を発見**したほか、**大鏡の製造メーカーが明らかに**なるなど、**文化財の価値を裏付け、高める成果**が得られた。

**「東京の洋館めぐり」企画でパンフレット配架**する中で、本件調査結果を展示している大谷美術館も紹介し、当園の来歴の認知向上とともに施設間で**相互にメリットのある協力連携体制を築いた**。

製造メーカーが明らかになった大鏡

メーカーの刻印プレートとカタログ資料

## 車いす利用環境の整備充実によるバリアフリー促進

### NEW わかりやすい案内資料の作成とHP公開

貸出用車いすの利用可能ルートや階段スロープ設置状況、敷地内の急傾斜・段差等の注意ポイント等を写真と地図でわかりやすくまとめた案内資料を作成・HPで公開し、**来園前に安心して見学計画を立てていただけるようにした**。園内はもとより、近隣駅のエレベーター出口からのルート掲載により、**誰もが訪れやすい庭園としてアピール**できた。また、オフロード車いすへのクッション配備や、タイヤが埋まりやすい段差への緩衝マット用意などの対応で、走行環境を向上させた。

窓口、売店、警備スタッフに研修も実施

園内のバリアフリー案内図

## 洋館・和館・樹林地、それぞれの景観構成に配慮したモッコクの剪定を実施

### Update 9庭園の技能職員による短期共同作業で、邸宅庭園にふさわしい観賞景観に改善

当園の主要景観木のひとつであるモッコクを対象に、「洋館エントランス」・「和館前庭」・「樹林地」と異なる景観構成に配慮した手入れを実施。**重要文化財指定建造物を際立たせ、建造物室内を視点場とした近景・遠景を意識した修景整理**に取り組んだ。

「洋館エントランス」はのべ約30人の職員による2日間の**短期集中の共同作業により、利用者への影響を最小限**に抑えることができた。また、事前の手合わせと全体の指揮を取る職員を配置したことで、剪定の濃淡や、バランスが統一された木々に整え、景観を改善することができた。

9庭園協力しての短期集中作業により、建造物と調和する洋館エントランス空間へ改善

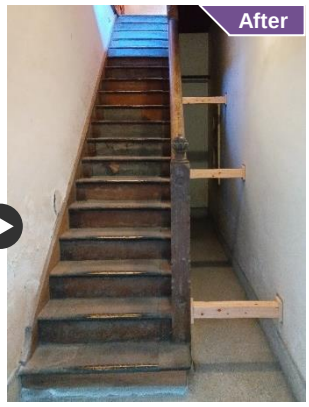
全体指揮の下、バランスの取れた樹群に整備

## 文化財への影響を最小限にした補正と、将来的な保存に向けた取組

### NEW 劣化原因の特定と、進行を止める措置

非公開エリアの**撞球室地下階段は創建当初の状態を維持**している。維持管理での使用のほか、月1回の特別ガイドツアー時は**一般利用者も使用**する。その階段の踏み板が外れ、側面の漆喰壁に剥離が生じたため、調査を行い、階段下部が腐朽して沈み、階段が歪んで柱が外側に開いていることを把握。オリジナルの改変はできないため、教育庁ほか関係各所に対し、歪みを補正し、支柱を使って階段を正しい位置に固定する施工を協議、了承を得て実施した。**施工により踏み板が固定され、安全な歩行を確保し、壁面の劣化の進行を止める**ことができた。当措置は仮設のため、今後、東京都による改修工事実施まで、原状の維持を図っていく。

柱が開いたために外れた踏み板と、歪みの影響で剥離した漆喰壁



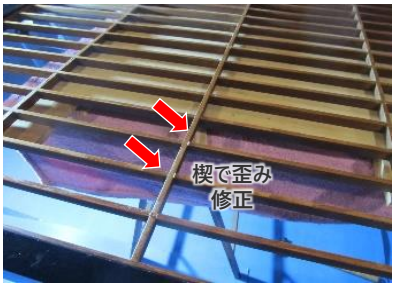
階段の歪みを補正し、支柱で固定。踏板は固定され、壁も安定した

## 和館廊下の建具部材更新（障子紙貼替、畳表替え）を実施

### Update 細やかな工夫を交えた部材更新

和館廊下と外、同廊下と部屋を仕切る障子の補修跡や、廊下に敷き詰められた畳の退色や擦り切れなど、経年劣化が顕著になってきたため、畳と障子の更新を行った。障子の組子に歪みが生じていたため、施工時は障子紙を利用した楔を忍ばせ、平滑に修正して貼り替えるなど、**細やかな工夫を加えて仕上げた**ことで、**和館廊下が引き立ち美観を向上**させることができた。

畳と障子の更新で和館の視点場、大広間から雪見灯籠が鮮やかに



障子の組子歪みを障子紙を利用した楔を忍ばせて解消

名勝・史跡

# 向島百花園

## 江戸の町人文化・園芸文化 200年の歴史と伝統の継承

所在地：墨田区／開園面積：1.08ha

## 来園者誘致に向けて、地域と連携し庭園・伝統行事の魅力を幅広く発信

### NEW「虫ききの会」インバウンド向けツアー実施

8月、**伝統行事「虫ききの会」の外国人向け体験ツアーを初開催**。参加者募集では**墨田区観光協会と連携し、当初募集20人を大きく上回る33人で催行**した。英語での「庭園ガイド」「放虫体験」「茶会」を組み込み、**アンケート回答で全員から「満足」の高評価を頂いた**。アンケートでは、虫の音を聴く文化や和室での茶会体験に価値を感じた参加者が多かったため、2月「梅まつり」でも初めてとなる「茶会」を地域関係者らと調整し実施、更に観光客を誘致した。

気軽に茶会を楽しめるように外国人参加者へ椅子を貸出

### Update「日英併記」による伝統行事の周知拡大

夏～秋の3つの伝統行事イベントのチラシを日英併記にアップデート。A3両面二つ折りに仕様を変更してイラストも追加し、分かりやすさを向上させた。地域の小学校などを通じて配布を拡大し、**「虫ききの会」期間中入園者数は1.2倍(1,448人)に増加、百花園の魅力と伝統行事を普及**した。さらに、園内案内板や菊の展示の解説パネル、冬の「梅まつり」チラシなどにも日英併記やイラストを追加して情報発信力を強化し、江戸園芸文化を周知した。

筆で描いたようなイラストをあしらい、伝統行事の楽しみ方をアピール

### NEW 墨田区観光協会プロモーションカーを誘致 百花園から地域情報を発信

墨田区観光協会と連携し、初めて同協会プロモーションカーを「虫ききの会」に誘致。行事期間中、墨田区の関連施設や区内イベント等の案内を来園者へ配布し、**地域の観光振興に貢献**した。

プロモーションカー「すみーくる」。区の観光協会との連携を推進

### NEW すみだ北斎美術館の「北斎漫画」資料を活用し「すずめ踊り」を紹介

**外国人知名度も高いすみだ北斎美術館と初連携**し、「梅まつり」イベントで公演を行う「すずめ踊り」について美術館資料を用いて紹介。**学習機会の創出と、地域周遊性を高める相互PR**を行った。

特設ブースを設置し、北斎漫画の「すずめ踊り」を資料と動画で紹介

## 試行錯誤を経て育てた大輪の菊で、庭園を豊かに彩り、イベントを盛り上げる

### Update 古典菊の栽培試験を重ね、より大きな花をたくさん咲かせる株づくりに成功

複数年に亘り古典菊栽培方法の改良を図ってきたが、今期、**挿し穂の定着率の向上に成功（昨年比３倍の90%）**。また、生育に適した温度管理を見極め、良質な花芽育成のための芽かきも実施。草丈が高く、**大輪で花数も多い、優良な古典菊37種を、昨年よりも74鉢多い131鉢育成**した。

挿し穂（上）、順調に生育中（下写真）

草丈高く大輪の菊作りに成功

### Update 優良な古典菊で「菊が彩る江戸花屋敷」展示とコンテンツを拡充

大きく育成した**菊の展示場所を昨年の1箇所から5箇所に増設**。江戸風俗に倣い、特設台に鉢をひな壇状に配置、**品種毎の花形を楽しめる展示で魅力を向上**した。また江戸時代の庶民が楽しんだ菊の番付を再現した人気投票を実施し、江戸文化を体験していただいた。**昨年度比約1.7倍の6,654人**の来園者を迎えることができた。

色とりどりの花が並ぶ展示場

菊の番付(16種：SNSで結果公開)

## 『江戸の町人文化』を今に伝える伝統行事・イベントにおける演出の工夫

### NEW 江戸風鈴・和傘を使用し庭園の季節の演出をバージョンアップ

**「虫ききの会」会期中に藤棚の下に江戸風鈴と和傘を使った新規フォトスポットを設置し、納涼と江戸風情の"映える"演出**を制作。猛暑の中、江戸風鈴は涼し気な音でも日本の夏の雰囲気を伝え、行事参加のこどもや外国人に和の風物詩を堪能いただいた。

視覚に加えて、聴覚からも風情をお楽しみいただく夏のおもてなし

### Update 園内で栽培した植物を行事で活用し百花園ならではの草庭らしい演出

ウリ科植物の**害虫駆除や栽培方法を改善し、40cmを超える大きな実を収穫**。乾燥・塗装して「虫ききの会」や「月見の会」の照明装飾、「野草ウォッチング」や正月飾りとして活用。竹の間伐材でライトも作成し**当園の植物への理解と興味を深める機会を創出**。

巨大なヒョウタン・ヘチマ等を籠盛りで展示。加工し照明にも。

## 向島百花園ならではの草庭景観をお楽しみいただくための維持管理

### NEW 「草もの」の知識を活かし、見ごろの植物を魅せる選択除草を実施

次々に変わりゆく草ものの花の見ごろを見極め、周辺に繁茂した草を刈り、間引いて調整をしていく細やかな作業を実施。**「群芳暦」にある植物を把握し、生育状況を見ながら、訪れた方々が旬の花を楽しめるように、維持する、戦略的な選択除草を行い**、利用者の観賞に寄与できた。

繁茂しすぎた草ものは間引いて小さくし、見ごろを迎えた花ものに視線が向くよう手を入れた

都指定名勝

# 清澄庭園

## 下町の名所・コーヒー、アートの街
## 清澄白河の癒し空間「清澄庭園」

所在地：江東区／開園面積：8.10ha

## ベテランの持つ技能を若手に伝承「庭園技能伝承研修」

### Update 江戸から続く貴重な庭園の価値向上と継承

庭園技能の継承は、江戸や明治から続く**貴重な庭園の価値**を高め**将来に継承**すること、景観を保全するための**技能の育成と伝承**を目的に、平成20年度より**「庭園技能伝承研修」**として実施している。今年度は**「枯滝」の管理手法**を学び、職員個々の庭園管理技術・技能の向上を図った。

土や草等を取り除き洗浄されたグリ石を、上流部は急流のように、下流部は穏やかに池に注ぐように再配置し、石の置き方で滝の流れを表現

### Update 熟練の農園芸職員によるきめ細やかな指導

**過去のグリ返し作業をまとめた資料**や**サンプルを用意**して、研修生が**イメージしやすい工夫**を凝らし、研修の成果をあげた。添景物管理による庭園景観の維持、また修景時の着眼点や方法について、一つ一つの作業を通じて丁寧に説明し進めたことで、**研修生の枯滝の管理技術や技能習得**を図った。

資料を基にした座学→

各庭園に所属する経験の浅い職員に、熟練の職員が伝承

### Update ほかの作業と時期を合わせて効果の最大化

護岸補強工事や枯滝周りの植栽の整理と**時期をあわせて**研修を実施したことにより、**護岸及び枯滝一帯の景観を向上**させることができた。また、委託作業と研修作業の**作業動線が重なることを考慮**し、作業現場や搬入経路の確保について委託業者と事前調整し、支障なく研修を遂行した。

視点場を意識し、景観向上を図った

### Update ノウハウの蓄積、データの活用

OJT研修以外にも、技能の伝承を資料や動画で納めたものを**データベースで保存**し共有することで、技能を確かなものとし、これからも都立庭園の**価値を守り・高める取組**として継続していく。

石は、滝の流れを意識して配置していった

## 価値を付加して魅力向上　自主事業の拡充

### NEW 江戸東京博物館「出張えどはくカルチャー」

大正記念館を会場に江戸東京博物館学芸員による講演「江戸東京 水辺の庭園ものがたり」を初開催した。**潮入の庭園の名残を残す清澄庭園はテーマに相応しく、受講者の関心を高め、新たな利用者層を来園誘致**できた。講義では潮入や上水を活用した浜離宮・旧芝離宮・小石川の庭の構成の実例や見どころなどにも触れ、都立庭園と水都東京の普及啓発に繋がった。

レイアウトの工夫で募集定員の111％となる133人を受入れ

新緑の季節に美しい園内を見渡すことができる会場を活用

### Update 「休憩スペース」を提供して顧客満足度向上

ゴールデンウィーク・紅葉時期・イベント開催時等に大正記念館や涼亭を**年間68日間「お休み処」として開放（昨年度より8日間増）**し、おもてなしの場を創出した。利用者ニーズを汲み取り、軽食や抹茶セットを提供。**普段入ることのできない施設でくつろぎの時間を楽しんでいただいた。**平均100人/日が利用し、来園者数増加にも貢献、次の開催日の問合せなど、大きな反響があった。

縁側に設けた緋毛氈席で日本文化を満喫（涼亭「清澄茶屋」）

当園紹介パネルの展示・庭師作業動画の放映も（大正記念館「お休み処」）

## イベント実施による防災普及の取組

### Update 震災、戦災で多くの人命を救った清澄庭園

昨年度の防災普及イベントをブラッシュアップし、より分かりやすい「スライドショー」にした動画の視聴を中心に「防災展」を開催した。地元自治体や警察・消防にも協力いただいて「江東区防災マップ」の配布など**地域の防災情報の展示を拡充し、新たに消防署・消防団によるAEDを用いた「心肺蘇生法」の訓練も行い、36人に体験**いただいた。猛暑に配慮して併設した「ひと涼み処」も多くの方に大変喜ばれた。X（旧Twitter）の頻回ポスト等で広報に努めた結果、猛暑の中、**目標（1,000人）を大きく上回る2,743人**に来園いただくことができ、関東大震災をはじめとする昨今の自然災害からの教訓、未曽有の大災害で清澄庭園が果たした役割、緑地の持つ防災機能を情報発信し、防災への備えを普及啓発できた。

動画で関東大震災当時の様子を紹介

応急救護訓練コーナー

## 適切な時期を見極めた維持補修の計画的実施

### NEW 技術を活かした水中補修作業

水中部にあるためこれまで確認できなかった涼亭**石積みの損傷と内部の空洞化**が、護岸補修工事の水位低下によって確認された。大きな石はチェーンブロックを使い持ち上げ、くさびや土のうを入れて**傾きを調整**、建物の**沈下を未然に防ぐ**ことができた。

石積みの損傷

石積みの補修

### Update 開放公園の安全な園地環境の提供

踏圧や表土の流出による**ガラが露出している園地を調査**し、順次**丁寧なガラの撤去及び整地**を行った。必要な場所には土系舗装を施すなど場所に合わせた補修を行い、歩行やベビーカーなどの通行に支障のない**安全な園地環境**に配慮した管理を行った。

園路の不陸

園路の不陸解消

名勝

# 旧古河庭園

所在地：北区／開園面積：3.07ha

## 和と洋の調和を未来へ繋ぐ 地域と共に名勝庭園を次世代へ継承

## バラの魅力を最大限に引き出し、さらなる楽しみ方を提供する庭園体験

### Update 技術力でバラの見頃延長！来園者数増加を牽引

通常、春バラの見頃は10～15日間程度だが、**経験豊富な技能職員が知識と技術を発揮し見頃を25日間維持**したことで、**5月来園者数は100,504人（前年比109%）**と入園者増に大きく貢献した。

見頃のバラ花壇

### NEW 伝統に触れる染物体験とバラメニューでバラフェスを満喫

ハンカチ・スカーフの草木染め・藍染め体験のワークショップは、小さなお子様も参加でき気軽に楽しめると好評だった。また**要望が多かった飲食のキッチンカーを手配。バラの花びら入りのメニューなどを提供**した。

魅力的なメニューと染物ワークショップ

### Update 要望に応えて開催拡大！人気の「バラの香りツアー」

**例年1回の開催を3回に増やし**、90人を募集。182人から応募があった。開園前に特別に花壇に入って豊かな香りを間近で楽しむことができ、**アンケートでは参加者全員から「大変満足」「満足」の回答をいただいた**。

「3回目の応募でようやく参加できました」と喜びの声をお寄せいただいた当選者もいた

## 地域と共に紡ぐ庭園づくり！連携を通じた新たな取組を展開

### NEW 新札の顔！「東京北区渋沢栄一プロジェクト」に参画

北区主催の飛鳥山公園から当園を巡るガイドツアー「渋沢庭園と古河庭園の魅力発見！」では**普段は公開していない「書庫」を特別に公開**して職員が当園と渋沢栄一との繋がりを交え案内。新札発行を機に**北区との連携をさらに強化**した。

書庫の特別ガイド

### NEW 陸奥宗光ゆかりの庭園がつなぐ、北区と和歌山市の連携

陸奥宗光が和歌山出身という縁で、北区健康づくり総合アプリ「あるきた」に「歴史探訪コース～紀州和歌山編～」が追加された。そのPRとして実施された和歌山市主催のウォークイベントで、職員が庭園をご案内。**和歌山市との交流を深め連携を強化**した。

当園の歴史的価値をセンター長が紹介

### Update 園内施設の管理者とともにインクルーシブな庭園をめざす

洋館管理者の（公財）大谷美術館との連携を強化。車椅子利用者の来園時、庭園窓口で洋館見学希望の有無を伺い新規導入した入口階段の可動式スロープ設置連絡を行う体制を構築し、**多様な来園者がより快適に楽しめる環境を整えた**。

車椅子利用者への対応案内を一目で分かるHPトップ画面に掲載

## 四季折々の魅力を届けるPR活動とSNS活用

### Update 積極的なPR活動が奏功！バラと紅葉の魅力を広く発信

バラや紅葉の見頃時期に**マスコミへの投げ込みを計116件**行い、積極的なPRで取材招致に努めた。新聞社や報道等、**年間で延べ103件の媒体に掲載**され、洋館工事に伴う入園者減少に歯止めをかけた。

Xで投稿した写真のメディア使用要望も多数

### Update 工夫を凝らした多彩なポストでXフォロワー数4万人達成！

「センター長の紅葉定点観察」や紅葉の状況を手水鉢のグラデーションで表した「紅葉の手水鉢」など、様々な視点で庭園の魅力をこまめにポストした。**魅力的な公式Xの継続ポストでファンを拡大**した。

センター長のおすすめ紅葉スポットを15回ポスト

フォロー4万人突破お礼ポスト

### NEW 「今年しか見られない洋館のシートを見たい」との声も！

**洋館工事で建物を囲うメッシュシートをポジティブに紹介**し、工事中でもマスコミ取材を獲得した。また、HPやX、園内掲示等で周知を徹底、窓口や電話問合せでも**丁寧な説明をおこない苦情を0件に抑えた**。

景観に配慮し洋館の写真をプリントしたシート

## 古河氏時代から残る歴史的石造建造物を中心とした観賞価値の向上

### NEW 作庭当時からの石造建造物遺構「書庫」の保全と活用を図る取組

東京都の洋館(石造)修復工事の完了に合わせ、同じく**作庭当初からの石造建造物である「書庫」の保全**のため、建物への支障となる**近接支障樹木の伐採**を実施した。また、今後の利活用を図っていく為に、書庫を紹介する**解説板を新たに設置**した。

### Update 洋館へのアプローチ「馬車道」樹林の改善

昨年度からの**東京都「洋館外壁修理工事」に連動**し、洋館から望む外周・馬車道上の**スダジイ大径古木群**の骨格整姿剪定を実施。**樹冠枝葉の過密化が解消**され下層部への日照が健全化。良好な樹形形成を促すことができた。

### NEW 「洋館」周辺のソメイヨシノの更新

洋館周りで樹勢が低下したソメイヨシノを更新。併せて周辺樹木の整理と土壌改良を実施し、**洋館入口を印象付けるソメイヨシノの景観の回復**を図った。

名勝

# 殿ヶ谷戸庭園

## 崖線『美』を活かした庭づくり
## 別荘庭園の往時の趣を『今』に伝える

所在地：国分寺市／開園面積：2.11ha

## 自然環境を生かした風致景観の向上

### Update 豊かな自然環境を生かした風致景観の維持管理

主屋から芝生地の西辺に沿って南へ延びる園路は、ハギのトンネル、藤棚を抜け、段丘崖の縁辺を緩やかに降り竹の小径へ続く**主要ルート**である。この**風致景観の向上**を図るため、**竹林の健全化を維持**するため年間を通じて継続的に行い、藤棚から竹林へ延びる土居木段は全体的に更新を行い**来園者が安全で快適に観賞する空間を提供**することができた。また、土居木段の手すり部分は、竹林管理の際に発生する間伐した竹材を用いることで**発生材の利活用**につなげた。

紅葉に映える手入れ後の竹林と土居木段

### 竹林管理

竹林は、新筍の発生を促すための地下茎の整理と土壌改良を行い継続した手入れを行うことで**静謐さを保ち、風が通り、内部に陽が差す**竹林景観に修景できた。

### 間伐材の活用

**間伐材として切り出した竹**を剪定のうえ、JR駅ビル「セレオ国分寺」、都民協働の「たまこくデイケア」、発達障害児童施設「ネクストエール（国分寺市）」、JR国分寺駅の**合計4か所に七夕飾り用に提供**。

提供先のJR国分寺駅

園児による飾りつけ

### 土居木段更新

**段丘崖を昇降する土居木段**を庭園工作物標準図を基に更新し、間伐材（竹）を活かした手すりを用いて、**安全で快適な散策ができる空間**を提供することができた。

間伐した竹を手すり支柱に設置

土居木段踏面設置作業

# 武蔵野の別荘庭園の魅力を伝える取組

## NEW 庭園の見方が変わる！「別荘庭園の特等席」で魅力をアピール

●作庭上重要なビュースポットからの景観をパネルや小冊子で紹介するとともに、通常は立ち入りできない芝生地の一部の開放の実施、フォトスポットやボランティアによるイベント向けの活け花の設置、紅葉亭和室の雨戸と障子を取り外すなど特別な趣向を凝らし、**別荘庭園ならではの絶景をお楽しみいただいた**。

●初夏・夏・秋のイベント期間中の合計来園者数は4,305人（昨年度比102.6%）となり、ビュースポットからの景観紹介で**園内に国分寺崖線を有する庭園の魅力を新たに発信**できた。

イベント特別仕様の紅葉亭

フォトスポットを利用する家族

解説資料

## Update 周辺地域の見方が変わる！武蔵野の自然と歴史を訪ねる散策ツアー

オリジナル散策マップを活用し、園内や国分寺崖線沿いの史跡等をめぐる散策ガイドツアーを11月に実施。昨年度参加者のニーズに応え、馬頭観音までは通常入ることのできない芝生地を歩いた。資料館では国分寺市ふるさと文化財課の協力により、専属ガイドの特別講演を実施。**庭園を含む地域全体の歴史や地形、植生などを横断的に知っていただく機会を提供**することができた。

近隣史跡である「真姿の池」でのガイド

資料館の専門ガイド

## NEW JR東日本との連携により当園の魅力をアピール！

これまで構築してきた連携体制をもとに、庭園至近の**JR国分寺駅の構内に10～12月の3ヶ月間ポスター掲出**した。
デザインは新緑と紅葉の主要景観とし、当園を知らない方にも魅力が伝わる写真を厳選して、**12月来園者数は10,973人（昨年度比115%）**となった。

駅の1日平均乗降数は約20万人

# 都民協働や都立の他施設と連携した取組

## Update 近隣メンタルケアクリニックとの協働作業

都民協働として、近隣のメンタルケアクリニックのボランティア活動を年間延べ**328人**受け入れた。（昨年度は264人、昨年度比124%）参加人数を増やしたことで、例年回数が限られていた落葉清掃等を**多く実施できた**。地域で連携したことで、**若者の就労復帰支援**活動と共に**庭園の景観維持**も図れた。

園内の落葉清掃

イベント会場の設営

## NEW 周辺環境の保全による発生材の利活用

**当園では初めて**、維持管理で発生したシラカシの枝葉を多摩動物公園へゾウの給餌を目的として提供し、**利活用**を図った。

シラカシの枝葉

ゾウがエサを食べる様子

約5,000kgの発生材の運搬や処理の**コストを半量以下に抑制**。また、本活動のＸ（旧Twitter）でのポストは**インプレッション数7.4万回以上**となり、SDGｓの取り組みを多くの方に周知できた。